

保育 ICT システムはどう選ぶ？



保育園や幼稚園では、様々な書類整理や保護者との連絡に手書きの資料作成が多く、それが保育者の負担になっているといわれています。保育者の負担軽減や離職の減少を目的として、業務の効率化を目指した「ICT」の導入を検討する保育園や幼稚園が増えています。

今回は、保育専用の ICT システムを導入することで得られるメリットや選び方を紹介します。

保育 ICT システムでできること

●保育者の園内業務

園児の管理

園児の生年月日や家族などのデータ、既往症、アレルギーの有無といった、園内で生活するために欠かせない情報の記録・保管に ICT システムを活用することで、職員はデータをリアルタイムに共有し、いつでも園児の情報を確認できます。たくさんの書類の中から探さなくてもすぐに確認が可能のため、作業時間の削減・効率化にもつながります。

指導計画・保育日誌などの作成

ICT システムでは、指導計画や保育日誌などの書類にテンプレートを活用したり、園児の情報が自動反映されたりと、作成しやすい工夫があるのが特徴です。そして作成したものをもとに状況に合わせて柔軟に上書きできるため、手書きの書類とは違い、書き直しを 1 から作成する必要もありません。

保育料計算の自動化

保育料は住んでいる自治体や世帯の所得、対象の子どもの年齢、保育時間といった複数の条件によって金額が決まるため、園児一人ひとりについて計算しなければならず、職員の事務仕事のなかでも負担の多い業務です。計算の複雑さとお金を扱うことによるプレッシャーの両方から、保育料計算に苦手意識を持つ方も多いのではないのでしょうか。

保育園専用の ICT システムを導入することで、登降園機能の記録をもとに、設定された条件で自動的に保育料を計算してくれるため、今までデータの集計と計算にかかっていた時間を短縮できます。計算ミスを防げるだけでなく、同時に職員の心理的業務負担も減らせます。

●保護者とのコミュニケーション

出欠・遅刻・早退・延長などの連絡

ICTシステムであれば、全ての保護者と共通のツールを用いて出欠・遅刻・早退・お迎え時間の変更などの連絡ができます。職員が一括管理しやすいのはもちろん、保護者も園への連絡を悩まずに選択できます。また、朝の欠席・遅刻の電話対応に追われることもなくなり、職員の負担軽減にもつながります。

連絡帳、おたより配信

ICTシステムではタブレットやスマートフォンなどの端末で連絡帳の記入ができます。保護者は入力された内容をいつでも確認することが可能です。また操作が簡単な音声入力や緊急連絡の一斉配信などの機能もあるため、状況に応じて情報発信ができます。紙の資料では、配り忘れを防ぐために都度管理・記録しなければなりません。配信にすれば配布もれを防ぐこともできます。園児がお休みをしている日でも、保護者は最新の情報をいつでも受け取ることができます。

イベント時などの写真共有

ICTシステムでは、季節の行事や日々の活動の際に子どもたちの様子を写真で保護者向けに共有し販売することも可能です。職員が画像をアップデートするだけで共有できるうえ、保護者もより手軽に写真を確認・購入できます。

保育 ICT システムを導入するメリットは？



●園児と向き合う、ふれあう時間が増える

ICTシステムの導入によって保育者の負担が軽減され、その時間を子どもたちとの触れ合いや活動にあてられる点も大きなメリットです。今まで事務作業にかかっていた時間を削減できれば、より保育に意識を向けられます。保育に集中することで結果的により良い保育を提供することにつながるでしょう。

●業務にかかるコストが削減できる

書類作成などの業務を効率的にする ICT システムの導入により、残業時間を減らして人件費のコストを削減できるというメリットもあります。保育日誌やお便り、保育計画などの書類を手書きからデジタルへ変更することで、職員の作業時間短縮に加え、用紙代や印刷にかかるコストの削減にもなります。

ICT システムの選び方



●導入する目的を具体的に決める

事務的な業務の内容や進め方は園によって異なるのが実情です。具体的に何を効率化したいのか、改善点はどこか、といった導入する目的を明確におきましょう。サービス内容を確認しないまま安易に導入せず、職員や園に合った ICT システムを選ぶことが大切です。

●使いやすいシステムかどうか

ICT システムを選ぶなかでも大きなポイントとなるのは、保育者・保護者双方にとって使いやすいかどうか、という点です。

なかにはシステムの操作に不慣れな人もいます。見やすい画面で、誰でも簡単に操作できるサービスを選びましょう。また、パソコンでしか操作できないサービスでは、全員がすぐに使えないため効率化には不十分です。スマートフォンやタブレットでどこでも簡単に操作できるアプリが提供されているサービスがおすすめです。

●ICT 化補助金対応のシステム・サービスを選ぼう

保育現場への ICT 化を推進するため、厚生労働省や文部科学省は業務支援システムの導入に必要な費用の一部を補助する制度を設けています。

各自治体によって交付している補助金が異なるため、詳しい内容や対象条件については管轄の自治体に確認してみましょう。

たとえば東京都では条件を満たせば必要経費の 4 分の 3、最大 200 万円までが補助金として支給されます。

hugnote は、保育者の園内業務や、保護者とのコミュニケーションを支援する様々な機能を備えています。また、午睡見守りセンサーや子どもの検温管理などオプションサービスも充実。より良い保育を目指して、hugmo の ICT サービスを導入してはいかがでしょうか。

▼—————ご質問・お問い合わせはこちら—————▼

無料トライアルも実施中です！詳しくはお問い合わせください。

<https://www.hugmo.net/inquiry?c.code=20210415>